

# 事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	副施設長				係長	担当

フリガナ	●●●●●●●●	男 女	要介護1	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子
本人氏名	●●●●●● 様	97 歳			<input type="checkbox"/> その他 ( )

報告者	●●●●●	発生(発見)日時	平成28年11月10日(木) 19:35 分頃
-----	-------	----------	-------------------------

場所	<input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点フロア <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 ( )
----	---

状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ( )
----	---

職員が他入居者の居室にて介助中、●●氏の居室より「パタン」という物音が聞こえ訪室すると、ベッド向かい側の壁を背に頭を入口側に向けた状態で身体を右側を下にして倒れている本人を発見する。どうしたのか本人に確認するとしばらく沈黙される為、「ベッドに移ろうとして自分で立った時に転んだんですか？」と話すと「うん」と頷かれる。その後「足がもつれた。どこも痛くない」と話されている。頭を打った形跡はない。靴はきちんと履いていた。その後、約40分後バイタル測定の為、訪室した際、本人の口から先程の転倒のことについて「枕の位置を直そうと思って、(ベッド横の介助バーのところから)自分で歩いてベッドの頭のところまで歩いた。その後、戻ろうと思って歩いていたら足の運びがつかなくてよろけてタンスにぶつかってそのまま床に転んだ」と語られ、最初の確認した状況と違っていたという発言聞かれる。

【施設内報告】  
19:45 ●●主任援助員より施設長へ電話にて報告する。  
20:30 ●●主任援助員より副施設長へ口頭にて報告する。

症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input checked="" type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他 ( )	部位	左背部
----	---	----	-----

2~3cmの擦り傷見られるも痛みなく出血もなし。その他部位、腫れ、変色なく痛み等ないと話される。

対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 ( )
----	---

職員が抱き起しベッドに座っていただく。左背部の擦り傷にアズノール軟膏塗布し、そのまま様子見る。

バイタルサイン	体温	36℃	血圧	126 / 70 mmHg	脈拍	60 回/分	SP02	%	計測時間	20:15
---------	----	-----	----	---------------	----	--------	------	---	------	-------

要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input checked="" type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
-------	--

・10/19退院後に下肢筋力の低下が見られており、移動は車椅子。掴まるものがあれば立ち上がりは行えるが、自力歩行は困難であった。職員の手を借りず自分で行おうとする意欲は強く、自分の思い通りにならないと気が済まない性格もあり、声掛けするも移乗するタイミングは本人の意思に任せてしまっていた。  
・ベッド横からベッド頭部までの導線に掴まりやすいものがなくふらつき転倒しやすい環境であった。

事故防止対策	・何か気になることがあれば、ナースコールを押して職員を呼んでもらえるよう、居室に戻った時と訪室時は毎回声掛けを行い、ナースコールを押すという意識付けを行う。 ・ベッド横にあるテーブルを足の高いものに交換し、テーブルに掴まりながら移動できるようにする。また、床から天井までのつっぱりポール型の手すりをベッド横に設置し掴まれるようにする。もし、転びそうになった場合はその場に座り込んでもらうように声掛けも行う。
--------	--

加ファリスの必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要
---------------	--

家族への説明	平成28年11月10日(木)	説明方法	<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話	説明職員	●●●●●
--------	----------------	------	--	------	-------

家族氏名	●●●●●様	続柄	長男
------	--------	----	----

19:50 事故の件、電話にて報告と謝罪をする。「わかりました。自分で行う元気が出てきたんでしょうね。何かあればナースコールを押してもらおうようにでも言ってください」とお言葉いただく。